

Carlssonのニューコンプリート“ミレニアムリミテッド”試乗レポート!

オートファッション・インプ 7月号

2000年7月1日発行 第6巻第7号 通巻67号 毎月1回1日発行
1996年1月24日第3種郵便物認可

auto fashion import

JULY 2000

650yen

●次号8月号は7月14日(金)発売

ツウもビギナーも、知っとく、納得、大満足!

インプ特選

このSHOP が凄い!!!

人がスゴイ、モノがスゴイ、クルマもスゴイし、お客さんもスゴイ!

■ DRESS UP REPORT in GERMANY

NOVITEC

イタリア車への熱き想いが、優れたメイクを生み出す!

ROAD TEST

Audi TT Roadster / VW POLO
Fiat Punto / PEUGEOT 406
Cadillac Deville



af imp Special Report in Germany

NOVITEC

F/I/A/T/ LANCIA

NOVITEC TUNING

Alfa Romeo



NOVITEC

洗練されたデザインのイタリア車を ドイツのハイパフォーマンスチューンで武装

ライプチヒモーターショーを終え、次に取材隊がアウトバーンを疾走して向かったスペシャルリポートは、華やかさで実力を兼ね備えたイタリア車チューナー、ノヴィテック。その本格派をとくと御覧あれ。

PHOTO/小林康雄 INTERPRETER/辻 寛
協力/ノヴィテックジャパン ☎03-3551-7980





このスプリングは、ファイアットバルケット用モデル。左端や上にはノヴィテックオリジナルフットペダルなどがある。



これは、2本ともファイアットバルケット用マフラー。デュアルの跳ね上げ式で、オールステンレス製



エアインテークやアライメントなど、エクステリア類から機能パーツなどカーボン仕様が多数



ノヴィテックのアルファ Romeo 156用1:1 Cチップチューニング。エンジンチューンまでは人も、これで充分効果アップ



ショップ機能も兼ね備えた店内では、ノヴィテックの最新ホイール、サスペンションキット、マフラーなどが手に取れるようになっている

novitec輸出担当マネージャー ディック・モルスドルフ

ノヴィテックの海外輸出をはじめインターネットなどの情報担当。シュテッテン出身で、笑顔が素敵な人。この本社では、ショップ機能も兼ね備えており、ユーザーとの折衝も彼の分野。



ノヴィテック

イタリア車+ドイツチューナー=ノヴィテック このパフォーマンスレベルの高さに脱帽だ!

田園都市、ワインの名産地、そして実力派のチューナーメーカーが存在する、南ドイツのシュテッテン。フランクフルトからアウトバーンを疾走して約5時間、のどかな丘の上に建つのがこの novitec (ノヴィテック) である。

今回紹介する novitec は、真正銘ドイツのチューナーブランドである。何故こういう遠回しな言い方をするかは、クルマを見ても分かる通り、イタリア車である。アルファ Romeo やファイアットなど、ドイツ車じゃないイタリアクルマをチューニングしているということ。

そもそもこの novitec は、古くからシュテッテンでファイアットやアルファ Romeo、ランチャなどのイタリア車のディーラーをおこなっていたカーバンニーである。彼が語ってくれた会社設立に関しての話では、イタリア車の持つラテン独特の奔放なスタイリング、内に秘めたスバルタンさなどを知っていくほどに、ただ単なるディーラーではなく、よりイタリア車の性能を高めたパフォーマンスを提供するチューナーを設立する必要があると感じたそうだ。今回取材を受けてくれたのは、ノヴィテック輸出担当マネージャーであるディック・モルスドルフさん。そしてゲルマン流の緻密でレベルの高いチューニングメニュ、イタリア車が持つデザインを損なわず、さらに空力などを高めたエアロフォルムメニュなどをラインアップし、現在に至るわけだ。

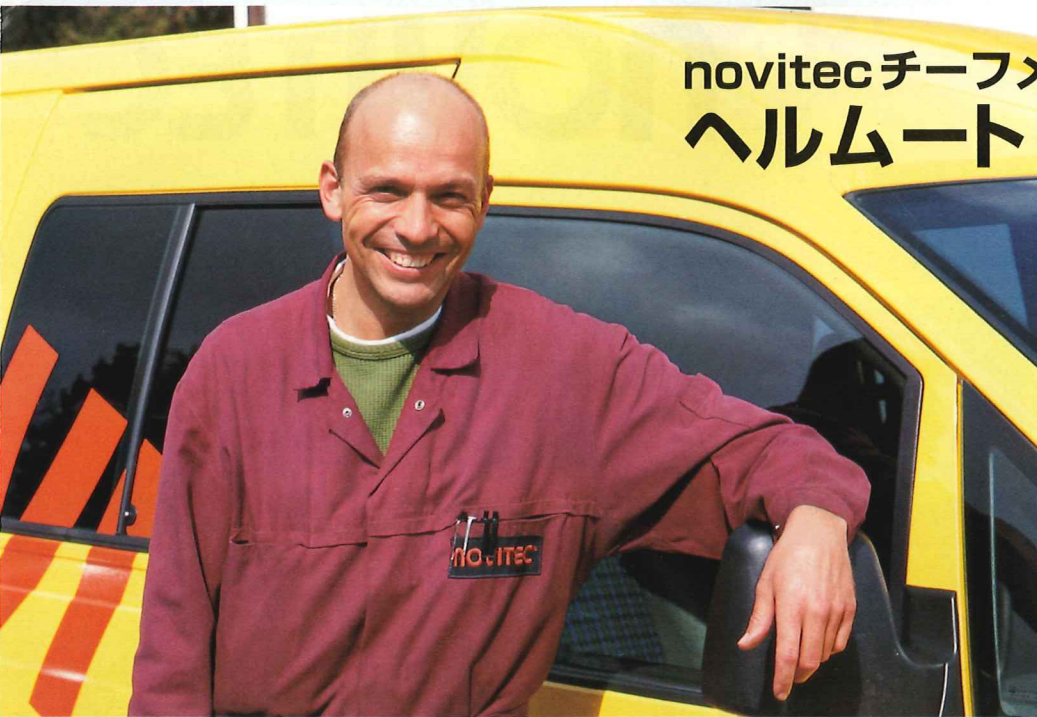
元来ドイツには数多くのクルマメーカーが存在し、同じように数多くのチューナーもまた存在する。が、この novitec はラテン系イタリア車だけを取り扱っている。いったい何故だろうか? ハイパフォーマンスなクルマであれば、ドイツ車のほうが数多くラインアップされているはずだろうか? といった質問には、「いろんなチューナーがドイツ車を数多くやっている。でもオーナーをはじめノヴィテックのスタッフ一同、イタリア車が心底好き

novitec チーフメカニック ヘルムート・ジースル

一見年齢不詳の彼こそ、元ルーフのエンジニアという肩書きを持つ。彼がチューニング担当となってからのノヴィテックノパフォーマンスの高さは日本でも急上昇。実際に彼がステアリングを持って、ニュルブルリンクやアウトバーンを疾走しノウハウを蓄積している



アルファロメオ用のホイール、およびスプリング。華美ではないが、装着しているとすっきりとノヴィテックテイストにハマる



ついにノヴィテックジャパンが 日本で始動する!!

イタリアのラテンイストをしっかりとデザインに繁栄させているアルファロメオ156。そのクルマにドイツのハイクオリティなエンジンチューンとエアロフォルム、さらにはアルミホイールからインテリアパーツに至るまでフルコンプリートなマシンが、今回新登場するNOVITEC Alfa156だ。そして、今回気になるプライスのウェールを脱いだのだ。

Fスポイラー	¥ 56,000
Sステップ	¥ 68,000
ルーフスポイラー	¥ 34,000
Rスポイラー	¥ 45,000
マフラー (70? デュアルDTMルック)	¥ 145,000
スポーツサスペンションキット	¥ 245,000
スプリング	¥ 45,000
アンチロールスタビライザー (F)	¥ 55,000
アンチロールスタビライザー (R)	¥ 53,000
ストラットタワーバー	¥ 30,000
ホイールスベアサーセット (15?) ボルト付き	¥ 20,000
ブレーキシステム (フレンド製)	¥ 325,000
ホイール (8x17/18)	OPEN
(7.5x17 タイプN2)	¥ 57,000
アルミ製サイドブレーキレバー	¥ 12,000
ドアロックノブセット	¥ 6,000
MTペダルセット	¥ 13,000
ATペダルセット	¥ 12,000
サイドマーカセット (白/黒)	¥ 8,500

©ノヴィテックジャパン ☎03-3551-7980



なんだ。ドイツ車の完成されたデザインとはまた違って、心の中に燃えるようなインパクトを与えてくれるラテンデザインといい、いろんなチューニングによっていろんな味付けのクルマに仕上がるっていう個性的なのが結構好きなんですよ。」と楽しそうに語ってくれた。

このノヴィテックを「躍有名にしたのは、やはりエンジニアのヘルムート・ジースル氏が加わってから彼は、ボルシェのチューナーとして名高い元ルーフのトップエンジニア。彼が加わったことにより、ノヴィテックとしてのトータルバランス、フルコンプリートとしての存在感、性能面での仕上がりの評価などが急上昇したわけだ。

このフルコンプリートされたノヴィテックアルファロメオ156が、ノヴィテックジャパンによってついに日本に初上陸する。今後アルファロメオをはじめ、ラテンスタイルでスタイルアップを考えているインプユーザーにとっては心強い味方が現れたわけだ。



アルファロメオをはじめ
フィアットなど魅力の
クルマがめじる押し!

NOVITEC



SCOOP NOVITEC Alfa Sports Wagon

新車発表以来、話題の中心となっているアルファロメオのワゴン、アルファスポーツワゴンがノヴィテックバージョンで近日発売を予定している。この写真でも分かるように、このノヴィテック アルファスポーツワゴンもフルコンプリート仕様で、基本デザインはノヴィテックアルファ 156を受け継いでいる。もう登場が待ちどおしいでしょ。



発見!! NOVITECの
日本未発売モデルがコレだ!!

NOVITEC BARCHETTA



ホイールは7×15から8×17のサイズまで計10種類、スポーツサスペンションキットやスプリング、アンチロールバー、フレキシブルノヴィテックブレーキシステム、エアロはフロント、サイド、リア(3点)の計5点。フロアマット、インパネカーボンセット、など。

NOVITEC Multipla



ハイパワー仕様のエンジンチューン(124hp)をはじめ、40mmダウンのスポーツサスペンション。ホイールは7.5×17から8×17まで4タイプ。さらにルーフスポイラー、フロアマット、フロントステンレスバー、サイドステンレスバー、などがある。

NOVITEC seicento



日本未輸入のSEICENTOもドイツではスモールカーの人気モデル。また、つい先日日本でも発売開始したニューブント、旧ブントもバリエーション豊富。今後の発売が期待できそうだ。(ただし、ノヴィテックジャパンでは現状でアルファロメオ 156しかラインアップされていません)

アルファロメオといえば、DTMルックなどのスパルタン系が似合うアルファロメオ155もいい。だけど、最近のラテンといえば、トンガっている機能を全面に押し出すマシンという感じよりも、エレガントな薔薇のような華麗さを思わせ、なおかつその中に鋭いトゲが潜むような、そんなクルマだろ。

このノヴィテック156 2.0ツインスパークターボは、ラテン系メイクというよりゲルマン系のチューニングとひかえめであるが利にかなっているエアロシルエットデザインを施されたマシン。元来持つアルファロメオの良さを損なわず、それでいてノーマルの雰囲気とはまるで違った存在感を醸し出す。

ノヴィテックがこれまで存在感を發揮するようになったのは、やはり元ルーフのエンジンであるヘルムート・ジースルがメカニクを担当するようになってからというイメージが濃い。それまでもノヴィテックのクルマは、ジャーマンスピリッツのエッセンスを感じられたものであったが、ヘルムートの加入によって、さらに研ぎすまされたセッティングをふまえて、フルコンプリートとしての存在感が飛躍的に高まったといっても過言ではない。レジャー級のドライビングテクニクをもつヘルムート自身が、アウトバーンやニユルブルリンクなどで限界まで走り込み、そのドライビングデータをしっかりと現在のノヴィテックのクルマに還元している。

この156 2.0ツインスパークターボは、1997ccで218hpというパワーを持つ。エアロフォルムはフロントスポイラー、サイドパネル、リアスポイラー、ルーフスポイラーの計4点。ホイールは8×18インチのタイプN3が装着され、タイヤサイズは前後とも225/40/18、さらにブレーキをフレノポデでノヴィテック仕様、スポーツサスペンションもオリジナルで設定。インテリアにはハンドブレ+キレバー、ギアシフトコンソールカバ

af imp Special Report in Germany



218hpハイパワーで、最高スピードが244km/hだ



サイドパネルはフロントからの雰囲気壊さぬよう抑えがみ



フットペダル、フットレストペダルは、デザイン面も機能充実



ホイールは8×18のタイプN3を装着。タイヤは225/40。



ルーフスポイラーもしつかりとシルエツトと同化している



アルミニウム製のハンドブレーキレバーはレシーさを演出



フロントスポイラーのシルエツトは流れるような雰囲気だ



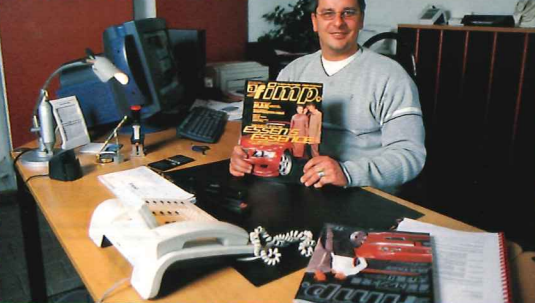
コンソール部も、上品なレザーを張り替えてある



ドアロックボタンの上にはアルファロメオの刻印が印象的



Thank You!!



今回、取材でまる1日おつき合いいただいた輸出担当のディックモルスドフ氏。当日取材時にインプを持っていったら、非常に興味津々でズ〜ッと眺められていた。これで、またインプ読者が増えたぞ〜と。

「ドアロックボタン、パネルセットの4点で、すべてにアルファロメオのロゴが刻印されている。また、このノヴィテックのカラーリングは、イタリアンイエローを基調にしている。イタリアのイメージといえば真っ赤だが、イエローカラーで決めたシルエツトだつて非常に引き立って見えるものだ。ちなみに余談ではあるが、ノヴィテックジャパンが日本に設立され、第1号のコンプリートカーが真っ赤な156で6月初旬に登場する。(ツインスパークターボではないけど) ドイツのゲルマン系が作り上げたラテンテイストのノヴィテック156、この完成度は写真で見ても分かるように華麗でいて、どこかにトゲを隠しているような、そんな雰囲気を感じさせるクルマだ。